



# 東京日々新聞

千九号



上総の國市原郡矢田村に平田留次郎といふ奴年  
 四拾六歳とも陸瘵の症を以て陽物の勃起せんのを一萬  
 歳さるるも或時六部に出會て不仕此ことを伺はれ  
 死を命ぜりと犯すときい立ふ病は全快なき。たふ折  
 雀舞村の何某らやらの娘を十七才にて黄泉行くと一昨日坦葬  
 此の話を一聞て墓場に至り埋り土を掘り棺と  
 裂けて引出し無言の死骸と強奸や埋め  
 次棄をせよ。明治八年五月二日事  
 變露て縛せしを裁判野と  
 拘引の例。ゆふさ  
 曲者妙也



轉々堂 略記

海辺彫味

